

いしかわの遺跡

埋蔵文化財センター 考古学講座

発掘資料を身近に



見て、触れて、感じて、みんなで考える

第5回「土器の見方・奈良・平安時代編」川畑 誠

平成10年度から新たに始まったこの講座は、いしかわ考古学入門や地域の古代文化、特定遺跡の調査成果を掘り下げたもの、実際に出土品に触れながらその観察ポイントを学ぶものなど、多彩なテーマと身近な話題で毎回好評を得ています。

埋蔵文化財センター調査員が講師をつとめ、参加者が気軽に質問できる雰囲気の中で講座が開かれています。本講座は平成11年度も引き続き実施しますのでぜひ御参加ください。申し込みは不要、入場は無料です。

財団法人 石川県埋蔵文化財センター
Ishikawa Archaeological Foundation

〒920-1336 石川県金沢市中戸町18番地 1
TEL 076-229-4477 FAX 076-229-3731
E-mail mail@ishikawa-maibun.or.jp

出前考古学教室

Delivery

1 出前考古学教室とは？

学校や公民館などの要請に基づいて、学校教育や生涯学習の場へ埋文センター調査員を派遣する事業です。教室では、埋蔵文化財センター保管の考古資料を活用した展示や講義、体験学習教材を利用した授業の支援などを行っています。遺跡から発掘された「実物資料」と「体験」を重視することによって、ふるさとの歴史をより身近に感じ、郷土への愛着を深めると共に、文化財を大切にすることを育てたいと思います。

2 教室の内容

(1) 授業補助

センターで保管する実物の出土品に触れながら身近な遺跡や先人の知恵と技を学ぶ。センター職員がわかりやすく解説しながら授業を支援します。

(2) 体験学習の指導

古代の土器づくり（成形・野焼き）や火おこし、機織りなど、体験学習の実施にあたって、教材貸与や指導者派遣を行います。

(3) 講演会の講師派遣

地域の身近な歴史や話題の遺跡に関連したセミナー等へ、講師を派遣します。

(4) ミニ展示会への協力

学校の空き教室や公民館を活用したミニ展示会へ、埋文センター保管の出土品等を貸し出します。

上記を組み合わせることで学習効果を高めることも可能です。具体的な内容については、個別に相談しながら、柔軟に対応します。

3 対象

小学校、中学校、高等学校、公民館等

4 経費

派遣する調査員の旅費は当方が負担します。

新学習指導要領 **「総合学習」をサポートします！！**

「歴史体験」とは、過去に生きた人々の生活文化の追体験です。現在の学校教育の教科区分に照らし合わせると、教材としての可能性は歴史や社会科の分野にとどまるものではなく、理科や図工、家庭、国語などさまざまな教科にわたります。歴史体験教材は複合教材として活用してこそ、その真価が発揮できるのです。

平成10年度は10件の依頼に対応して出前考古学教室を行いました。金沢市西南部公民館（縄文土器作りと野焼き） 金沢市大徳公民館（講演） 石川健民運動推進本部（縄文の暮らしの説明と野焼き） 金沢市立西南部中学校（社会科体験学習）、小松市立向本折小学校（図工）、七尾市少年団体連絡協議会（体験学習とミニ展示）などです。

金沢市西南部中学校 選択社会科授業 - 火おこしの歴史 -



小松市向本折小学校 縄文土器作り



石川県社会科教育研究集会七尾大会 出前考古学教室のPR



1998七尾市青少年子どもフェスティバル 体験学習（機織り、火おこし、石器の使用）



三引C・D遺跡

縄文人のタイムカプセル

田鶴浜町三引^{みびき}では、平成6年度から能越自動車道^{のうえつ}とふるさと支援道路建設工事前発掘調査を行っています。能越自動車道の路線下は平成8年度で調査を終え、平成9年度から11年度は能越道に平行して作られるふるさと支援道路の路線下を調査しています。

七尾湾から約1km、背後に赤蔵山^{あかくらやま}を控えた三引C・D遺跡は、現在水田が広がるのどかな所ですが、昔はどんな地形で、人々はどんな暮らしを営んでいたのでしょうか。これまでの調査では、縄文時代前期初頭から江戸時代にかけて連続と続く遺跡だということが分かっていますが、今回は、貝塚が発見されて注目を浴びている縄文時代前期初頭（約6,000年前）という時代へタイムトリップしてみましょう。

七尾湾から約1km、背後に赤蔵山^{あかくらやま}を控えた三引C・D遺跡は、現在水田が広がるのどかな所ですが、昔はどんな地形で、人々はどんな暮らしを営んでいたのでしょうか。これまでの調査では、縄文時代前期初頭から江戸時代にかけて連続と続く遺跡だということが分かっていますが、今回は、貝塚が発見されて注目を浴びている縄文時代前期初頭（約6,000年前）という時代へタイムトリップしてみましょう。



空から見た三引C・D遺跡 三方を山に囲まれている

6,000年前は海辺だった！！ 縄文時代前期初頭の三引は、縄文海進のため、山の麓^{ふもと}まで海が迫る入り江になっていたようです。海辺には県内では珍しい貝塚が発見されました。



積みり積もったゴミの山ならぬ宝の山
約6,000年前の貝塚

県内最大規模の貝塚 平成7年度に発見された小さな範囲の貝塚。今年度はその続きの調査を行おうと、蓋を開けてみてアラびっくり！！予想を超える大きな貝塚が横たわっていたのです。



丁寧に丁寧に貝塚の上面を出してあげます



貝が発掘道具に引っかかるので神経を使います



貝塚の土は全部大事に袋詰めします



網かごでふるいながら土を水洗。思わぬものが発見されるかも

貝塚って？ 貝塚には、縄文人がいらなくなって捨てたものが詰まっています。取り上げた土を水洗すると縄文時代の様子を知る小さなヒントをたくさん見つけることができます。縄文人は自分たちが捨てたものが、遠い未来に研究資料にされるなんて思ってもみなかったでしょうね！

貝塚の土を洗う 貝塚の土には、普通の発掘では見落とししてしまうような魚の小骨や植物の種なんかも入っています。土ごと洗って丁寧に調べていくと、縄文人が好んで食べていたものが分かります。

シカしたあごの下顎
こんな骨がわんさど出る



平成10年度のすごいもの！

日本最古！丸木舟かいの櫂かが出たぞ
貝塚の下の古い層からは、舟を漕ぐ櫂か（パドル）が見つかりました。持ち手の部分は半分以上欠けていますが、水掻きの部分はほぼ残っていて、現在と同じような櫂かが使われていたことが分かりました。

日本海側で最古つりばりの釣針

貝塚の中から、シカの角を削りだして作った釣針が見つかりました。長さ7cmもある大型品です。いったいどんな魚を釣っていたんでしょうね。



櫂は既に折れてました。残念！



出ないかねーなんて話してた矢先に！
出ました釣針！



片割れが見つかりここまで復元（櫂）

Profile



- 中央 金山調査員（29歳）
三引の調査歴が最も長い、オーソリティー。御被いもできるのだ！！
- 右 湊屋調査員（25歳）
食欲だけは男並。現場のない冬場は育ち盛りで困ったもんだ！！
- 左 国守調査補助員（24歳）
釣りに命を懸ける磯師。昼は現場、夜は磯というパワフルなお方！！

近岡遺跡

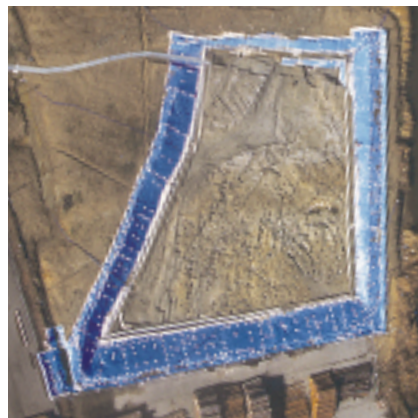
ピカピカのやじり

金沢市近岡遺跡の発掘調査は、石川県の海の玄関口である金沢港の用地整備事業に伴い実施され、その結果、弥生時代末～古墳時代初頭（約1,700年前）の集落跡が見つかりました。

周りより少し高いところに掘立柱建物などが建っていたことや、北側には川が流れ海に注いでいたことがわかり、人々が使っていた土器や木製品がたくさん出土しました。

その中でも特に注目されるのは、調査区北東隅の穴の底から、弓矢の先端につける鏃やじりが見つかったことです。鏃は銅でつくられたもので銅鏃と呼ばれています。今はほとんど茶色をしていますどうぞくが、つくられた当初は金銅色に輝いていたものと思われ、少しですがその残りが見られます。さぞかしきれいだったことでしょう。

これは長さ4.1cm、最大幅1.4cm、重さ3.4gを測り、矢柄にとりつける棒状の部分なみこ（茎）がみられ、中央に高い背をもち、刺さった後に抜けにくいように根本にえぐりかえり（逆刺）が入れています。このような形態の銅鏃は、石川県内では金沢市無量寺B遺跡につづき2点目にあたり、とてもめずらしい発見となります。



空から見た近岡遺跡



銅鏃（ほぼ原寸）

（財）石川県埋蔵文化財センター平成10年度発掘調査一覧

市町村	遺跡名	時代	内容	調査面積(m ²)	事業名
加賀市	柴山出村遺跡	奈良～中世	集落跡	700	県営ほ場整備（道路）
小松市	大長野A遺跡	縄文～中世	集落跡	5,550	小松バイパス
"	白江梯川遺跡	古墳	集落跡	1,500	梯川改修
"	矢崎宮ノ下遺跡	縄文・中世	集落跡	150	県営ほ場整備（排水路）
野々市町	末松遺跡	奈良～中世	集落跡	800	農村活性化住環境整備（道路）
金沢市	梅田B遺跡（建設省）	弥生～中世	集落跡	17,040	金沢東部環状道路
"	梅田B遺跡（新幹線）	古墳	集落跡	1,000	北陸新幹線建設
"	観法寺古墳群	古墳・平安	古墳	3,000	金沢東部環状道路
"	藤江B遺跡	弥生～平安	集落跡	4,310	金沢西部地区土地区画整理
"	藤江C遺跡	弥生～中世	集落跡	17,220	"
"	戸水B遺跡（西部）	弥生	集落跡	5,920	"
"	戸水B遺跡（県庁）	弥生	集落跡	2,790	県庁舎移転
"	経王寺遺跡	江戸	寺院・墓地跡	1,600	都市計画街路
"	額谷遺跡	弥生・古墳	集落跡	850	"
"	近岡遺跡	弥生・古墳	集落跡	2,000	金沢港整備
"	金沢城跡	江戸	城跡	11,000	金沢城址公園整備
"	北塚遺跡	弥生・中世	集落跡	480	金沢西部緑地公園整備
津幡町	倉見村ノ下遺跡	弥生	集落跡	3,000	北陸新幹線建設
宇ノ気町	指江遺跡	古墳～平安	集落跡	2,400	県営ほ場整備（排水路・田面）
羽咋市	四柳白山下遺跡	縄文～中世	集落跡・水田跡	7,900	鹿島バイパス
"	四柳ミッコ遺跡	縄文～中世	集落跡	5,200	"
七尾市	国分遺跡	弥生・古墳	集落跡	1,000	御祓川改修
田鶴浜町	三引C・D遺跡	縄文	集落跡・貝塚	5,300	能越自動車道他
輪島市	能登空港関連遺跡群	江戸	炭窯跡	11,000	能登空港建設
能都町	真脇製塩遺跡	平安	製塩跡	400	県道改良
珠洲市	南黒丸遺跡	縄文・中世	集落跡	2,600	国道249号改築

展示室のみどころ

オートマイクロスコープ ミクロの考古学

パネルの上に整然と並ぶ各種の出土品が、モニターテレビ画面で30倍に拡大されて映し出されるとともに、解説画面に説明文も表示されます。従来は大きな虫眼鏡むしめがねで見るなど、展示品の数や拡大率に限界がありました。この装置は最大64点の展示品をキーボードから選択することによって次々と映し出してくれるユニークなもので、6倍/30倍切り替え式レンズを組み込んだ超小型CCDテレビカメラを、2軸移動機構で位置制御せいぎょしています。

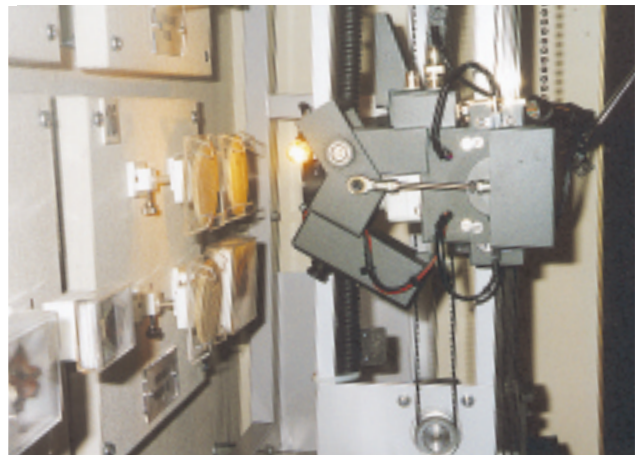
「ミクロの考古学」では出土品の表面に残された微細な痕跡を観察することによって、当時の製作技術や道具の使われ方を知ることができ、肉眼観察ではわからない、ミクロの世界に隠された新しい発見を体験できるようになりました。現在、石器の加工痕や使用痕、玉類の穿孔せんこう、編布あみぬい、土器製作時の靱圧痕もみ、炭化米、種子等、さまざまな資料が並べられていますが、随時新しい資料に更新していきますのでご期待ください。



1 オートマイクロスコープ・システム 高さ200cm



2 操作パネルで出土品の番号を選ぶ



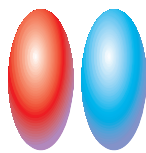
3 超小型カメラがその場所へ移動する



4 モニターテレビに拡大画像が映し出される



5 解説画面に説明文が表示される



訪ねてみよう加賀・能登の遺跡

小松市河田山古墳群 小松市立河田山古墳群史跡資料館

小松市東部の加賀産業開発道路沿いに住宅団地「^{こくふだい}国府台」があります。ここはかつては起伏に富んだ丘陵で「^{こうだやま}河田山」と呼ばれ、総数61基からなる古墳群や弥生時代の高地性集落跡、奈良時代の須恵器の窯跡などがありました。1986・87年にこの団地造成工事に伴う調査が行われ、52基の古墳が発掘されました(4～7世紀、9基は現状保存)。

特に注目を集めたのは、丁寧に加工した凝灰岩を積み上げて造られた「^{きりいしづみよにあなしきせきしつ}切石積横穴式石室」をもつ12号墳(一辺15mの方墳、7世紀後半)でした。これは天井がアーチ形となる全国にも例のないもので、朝鮮半島南部の王墓に系譜がたどれることから、^{とらいけい}渡来系の有力者のお墓と考える意見もあります。当時、全国の研究家や市民・県民から遺跡保存の要望が出され、石室は基盤ごと移築され、墳丘が復元されて往時の姿をしのばせています。

古墳公園に隣接した史跡資料館は河田山の発掘調査成果だけでなく「古墳時代」を広く理解できるような展示・解説がなされ、解体された33号墳の切石積横穴式石室も復元されています。

交通: JR小松駅から北陸鉄道バスで上寺畑行か鍋谷行、河田下車徒歩10分

北陸自動車道小松ICから車で20分

お問い合わせ: 河田山古墳群史跡資料館 小松市国府台3-64 電話0761-47-4533

開館 9:00～17:00(入館は16:30) 水曜日休館 入場無料



移築復元された12号墳



資料館内に復元された33号墳石室

伝言板

おもしろそう!! 参加してみよう!!

まいぶんイベント案内

〇月〇日

平成11年度事業の紹介

親と子の遺跡発掘体験教室

夏休みに親子で遺跡の発掘体験を行う。

出前考古学教室

学校や公民館等へ講師を派遣、体験学習の指導や講演、展示を行う。

埋文センター考古学講座

考古学の基礎知識、遺跡の調査研究成果をセンター職員がわかりやすく解説する。

発掘速報会「よみがえる石川の遺跡」

平成11年度発掘調査成果を報告する。

話題の遺跡講座

話題になっている遺跡に関して専門の外部講師が講演を行う。

新規 古代体験まつり

センターを会場に各種歴史体験を行うイベント。

新規 いしかわの発掘展

県内遺跡の発掘調査成果から特定のテーマで企画展・講演会を行う。夏休み期間中を予定。

講座名等は仮称です。開催の日時や募集等の詳細については別にご案内します。お問い合わせは埋文センター企画課まで。

インターネットホームページ「いしかわの遺跡」4月開設!

発掘調査やイベント、体験学習など、最新のまいぶん情報をお伝えます。

<http://www.ishikawa-maibun.or.jp/>

